

支那陸軍部... 昭和廿一年...

陸軍省陸地支局

史実調査参考資料 報告

昭和廿一年 月 日

所在地	所属部隊	支那軍要 以詳ニ於テ 自己ノ略ヲ	所在部隊 編成年月日 及編制裝 備概要	所属部隊 作戰經過 概要	終戦(又ハ主力 ノ戦ヲ終リ) 後ノ概況	帰郷(又ハ電 送)先	其他ノ考 考事項	備考
沖繩県宮古島 職官 第一機関銃中隊長	歩兵第三聯隊 氏名 [Redacted] 陸軍大尉	昭和十九年十一月一日在少尉 歩兵第三聯隊 同 十八年九月在任中尉 同 十九年三月三日在任中尉 同 十九年四月七日在任中尉 同 十九年六月在任中尉 同 十九年八月在任中尉	昭和十九年十一月十九日 歩兵第三聯隊 裝備	白眉日露兩戰役 又村島支那ノモレレノ要 了大東亞戰爭	宮古島のニ於テ復員準備 昭和十九年十一月十日より宮古島出航 米船エ(レ)タキ)ニ依リ同年一月 十日捕加方有	[Redacted]	[Redacted]	特設ニ記載セシメテ一級首者 史実部ニ送付ス
摘 要	終戦時ノ ヲ記ス	職変更及主 ナル参加戦斗 名ヲ記ス	最後所属部 隊ヲ主ニシ 尚ソ以前ノ 所属部隊ノ 合フニ概記ス	帰還輸送 ノ概況ヲ主 記ス				

15



關東上陸地支局

昭和三年一月

十七日

史実調査參考資

報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官

陸軍少尉

所屬部隊

歩兵第三聯隊

氏名

田中

支那事変  
以降、終戦  
自己、略す

昭和十七年十二月十日 滿洲第九七部隊に入隊  
昭和十八年十月十日 甲種幹部候補生に合格  
昭和十九年一月十日 豊橋第一陸軍予備士官学校に入校  
昭和十九年八月十四日 右同校卒業兼任見習士官  
昭和十九年九月一日 二十年八月 於宮古島大東亞戰參加  
昭和二十年一月十日 陸軍少尉

職、支那事変及主  
たる参加戦斗  
名を記す

所在部隊  
編成年月日  
及編制表  
備考、概要

明治七年十二月十九日  
歩兵第三聯隊裝備

所屬部隊  
作戰經過  
概要

1. 日清日露戰役  
2. 満洲支那ノモニハシ 事変  
3. 大東亞戰事

最後、所屬部  
隊ヲ主ニシテ  
尚、以前ノ  
所屬部隊ノ  
合テモ概記ス

終戦(又ハ事  
変ノ戦斗終了)  
後ノ概況

宮古島ニ於テ終戦ニリ復食準備  
昭和二十一年一月十日 宮古島出航米船「エボリック」  
号ニ乗リ一月十七日浦賀着

帰還輸送  
ノ状況ヲ併  
記ス

帰郷(又ハ連  
絡)先

其他ノ考  
考事項

備考

特設ニ記載セシメ第一復員者、史実部ニ送付ス

史実調査参考資料 報告

所在地	所属部隊	支那事変 以降の 自己略	所在部隊 編成年月日 及編制裝 備概要	所属部隊 作戦経過 概要	終戦(又は力 戦)終了 後概況	帰郷(又は連 絡)先	其他参考 事項	備考
沖繩縣喜望峯	歩兵第三師隊	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月	昭和三十六年十一月 昭和三十八年九月十五日 昭和三十九年四月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月 昭和三十九年八月

摘要

終戦時、  
不記

職名更及主  
たる参加戦  
名不記

最後所属部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前  
所属部隊  
合テ概記ス

帰還輸送  
ノ概況ヲ伺  
記ス

特設三記載セシメテ復員者 史実部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和三年一月十八日

史実調査參考資料 報告

摘要

所在地

沖繩縣生古島

職官 歩三、中隊附

終戦時、  
可記不

所属部隊 歩三聯隊

氏名 少尉

支那事変  
以降、  
自己、  
略

昭和十二年七月十五日、  
昭和十二年七月一日、  
昭和十九年七月二十日、  
昭和二十年十月三十日、  
即ち、  
陸軍部、  
編成、  
任陸軍少尉

職名更及主  
たる参加戦  
名可記不

所在部隊  
編成年月  
及編制裝  
備、概要

歩三聯隊編成  
明治七年十二月十九日

所属部隊  
作戰經過  
概要

生古島守備  
天一等作戦に参加

最後、所属部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前、  
所属部隊  
合テ概記ス

終戦、  
戦斗終了  
後、概況

生古島ニ於テ待機  
昭和三年八月十日、  
昭和三年八月十九日、  
復命完了

帰還輸送  
ハ概況ヲ併  
記ス

帰郷(又連  
絡)先

其他、  
考事變

備考

特設三戦戦セシメテ復命者 史実部ニ送付ス

史實調査參考資料

報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官

古原長

III

所屬部隊

島兵第三師團

氏名

古原

支那事変

自昭和十四年四月

支那事変及大東亞戦争参加の経過

職、変更及之  
其参加戦斗  
名不詳不

新在部隊  
編成年月日  
及編成部  
備

昭和十九年一月三日 島兵師團司令部

所屬部隊  
作戦経過  
概要

昭和十九年一月三日 島兵師團司令部  
支那事変及大東亞戦争参加の経過

最後、所屬部  
隊不詳不  
尚、以前、  
所屬部隊、  
合、概記不

終戦（又、参  
戦）経過  
後、概況

宮古島防衛  
日記  
南吉

帰還輸送  
ノ状況ヲ伺  
記ス

帰郷（又、連  
絡）先

其他、参  
考事項

米船工ハ、ソト、号、ノ、内、地、帰、還

備

特設ニ戦戦セシメテ一復員者 史実部ニ送付ス

關東上陸地兵局

昭和十一年 十月 廿九日

史実調査参考資料 報告

所在地

宮古島

職官 陸軍少尉

所属部隊

歩兵第三聯隊

氏名

陸軍少尉

終戦時ノ  
可記ス

支那事変  
以降ノ  
自己略シ

昭和十七年一月十日中野才三上陸部隊入隊  
昭和十九年五月一日見留士官  
昭和十九年八月十日宮古島上陸部隊  
昭和二十年三月二十一日陸軍少尉

職変更及主  
上ノ参加戦斗  
可記ス

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝  
備概要

編成年月日 昭治七年  
昭和十九年六月三十日臨時編成下令  
編成裝備 乙師團

所属部隊  
作戦經過  
概要

自昭和十九年八月 宮古島撤去  
至 今二十年八月 宮古島撤去  
主上ニテ陸地撤去

最後所属部  
隊ヲ主ニ  
尚ノ以前ノ  
所属部隊ノ  
合テ概記ス

終戦又ハ事  
戦斗終了  
後ノ概況

終戦後宮古島ニ在リテ東ヲ自治作  
業ニ従フ 且ソ作力ニ力ヲ盡シ  
帰郷(船送)昭和二十一年一月十日宮古島発  
令年一月十七日浦賀上陸(米船工)

帰還輸送  
ノ概況ヲ併  
記ス

帰郷(又ハ  
送)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

備考

特設ニ記載セシメテ一復員者 史実部ニ送付ス

北河東上陸地支局

昭和十一年一月十七日

史実調査参考資料報告

所在地 中野縣宮古島

職官 中隊長

1000

摘要

所属部隊 歩兵第三聯隊

氏名 陸軍大尉

終戦時ノモリ  
ヲ記ス

支那事変 昭和十七年十一月任陸軍少尉 支那第三聯隊附  
以降ニ於ケル 同 十九年三月任陸軍中尉 中隊長  
自己ノ略 自昭和十九年八月 宮古島守備  
至昭和二十一年八月 任陸軍大尉

職変更及主  
ナル参加戦斗  
名ヲ記ス

昭和二十一年六月 任陸軍大尉

所在部隊 編成年月日  
及編制裝束  
備考 概要

明治七年 編成

昭和十九年六月 臨時編成(大陸命令三三七号)  
編制(裝束) 乙

所属部隊 作戰經過  
概要

自昭和二十一年七月 支那事変参加(於滿洲)  
至同 年十一月  
自同二十一年十二月 滿洲守備  
至同二十一年七月  
自同二十一年七月 滿洲守備  
至終

最後ノ所属部  
隊ヲ至ニ  
尚ソ以前ノ  
所属部隊ノ  
合テ概説ス

終戦(及兵力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

自格作業ニ依リ復員待機  
昭和二十一年十一月十日米船エバトト号ニ乗船  
同 年一月十七日浦賀上陸

帰還輸送  
ノ状況ヲ併  
記ス

帰郷(及運  
送)先

其他ノ参  
考事項

備考

格作ニ記載セシメテ復員者 史実部ニ送付ス



史実調査参考資料報告

所在地

神尾縣宮古島

職官 中隊長

900

摘要

所屬部隊

步兵第三聯隊

氏名 陸軍大尉

終戦時ノ  
ヲ記ス

支那事変  
以降ノ  
自己ノ略

自昭和三年八月支那事変参加(河北戦)  
自昭和三年十二月 滿洲駐在(大東亞戦役勤務)  
自昭和三年七月 (原隊功績手帳 西正季更、瓦斯掛付授)  
自昭和三年八月 神尾縣宮古島警備

職変更及至  
ナル参加戦  
名ヲ記ス

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝  
備ノ概要

編成年月日 明治七年  
昭和十九年六月三日 臨時編成下令  
編成裝備 乙 師團

所屬部隊  
作戰經過  
概要

自昭和三年八月 長城、万全、涼州、綏遠作戦  
自昭和三年十月 綏州警備  
自昭和三年七月 綏州警備  
自昭和三年八月 宮古島警備  
自昭和三年八月 宮古島警備

最後ノ所屬部  
隊ヲ至ニ  
尚ノ以前ノ  
所屬部隊ノ  
合ヲ概記ス

終戦(大兵力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

終戦後宮古島ニ在リテ專ラ自治作  
業ニ從事且ニ復員後ノ公民教育  
併テ體力氣力ヲ養成ニ作ス  
帰還輸送昭和三年八月宮古島警備  
同年一月十七日浦賀上陸(米船エバレット号)

帰還輸送  
ノ概況ヲ併  
記ス

帰郷(大兵力  
終)先

其他ノ考  
考事項

米船内給養ノ概シテ良好ナリ  
但シ眼鏡、高筒靴、特等第一特等トシ  
テ段取セラル

備考

特等ニ記載セシメ才一復員者ノ入吏部ニ送付ス

關東上陸地兵局

昭和二十一年一月一日

史実調査参考資料

報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官 中隊長

四

所属部隊

歩兵第三聯隊

氏名 陸軍大尉

終戦時ノ  
可記ス

支那事変

自昭和十五年八月五日南支那支那事変参加(長城戦)

以降ノ経過

以來滿洲ニテ中隊附 昭和十八年十月中隊長

及バ

昭和十九年七月 勅令下シ 宮古島ニ至リ 今日ニ

及バ

(宮古島防備)

職名変更及至  
ナル参加戦斗  
名ヲ記ス

昭和七年

編成年月日

昭和七年 昭和一九七臨時編成

及編制表

編成表

乙師団

概要

Me

自昭一三、七、至昭和一三、二、支那事変長城戦

自昭一三、一、至昭和一九、七、滿洲警備

自昭一九、七、終戦迄沖繩宮古島ヲリテ

防備(主トシテ陣地構築)

最後ノ所属部  
隊ヲ主ニシテ  
尚ソ以前ノ  
所属部隊ノ  
合テ概記ス

終戦(又ハ主力  
戦斗終了)

自昭作業ニテ復員待機

昭和二六、一、米口工兵トシテ

昭和二六、一、米口工兵トシテ

(連中 平穩無事)

帰還輸送  
ノ状況ヲ併  
記ス

帰郷(又ハ先  
登)先

其他ノ参  
考事項

備考

特種ニ記載セシメテ復員者ノ入隊部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和二年一月

一七日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官 大隊副官

II

所屬部隊

歩兵第三聯隊

氏名 大尉

II

終戦時、  
可記ス

支那事変

昭十八、五、七 任陸軍少尉 歩兵第三聯隊附  
以後滿洲ニ在リテ大東亞戦役勤務ニ従事ス(昭十九迄)

職、変更及主  
ナル参加戦斗  
名ヲ記ス

自己ノ略

昭十九、八、一 任陸軍中尉  
昭十九、八、一 任陸軍中尉  
歩兵第三聯隊ニ在リテ大東亞戦役勤務ニ従事ス  
(大隊副官)

所在部隊ノ  
編成年月日  
及編制表  
備考ノ概要

昭一九、六、三 臨時編成完結  
乙 師団ノ師成

所屬部隊  
作戰經過ノ  
概要

昭一九、六、三 臨時編成下令  
昭一九、六、三 臨時編成下令  
七七 納金(駐在地位)出立  
八二二 宮古島上陸

終戦又ハ主力  
ノ戦斗終了  
後ノ概況

終戦後 自治ニ依リ 歸還待機  
昭二、一一、一 歸還、為 宮古島出立(米船イベルト号)  
途中軍紀厳止、航海平靜  
昭二、一、二七 浦賀上陸

最後、所屬部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前ノ  
所屬部隊ノ  
名ヲ概記ス

歸郷(又ハ  
終)先

自昭一九、八、一ニ 宮古島ニ於テ大東亞戦役参加(天一号  
至昭二、一、一)ノ事

帰還輸送  
ノ状況ヲ何  
記ス

12

其他ノ参  
考事項

特設ニ記載セシメテ一復員者ノ史実部ニ送付ス

備考

特設ニ記載セシメテ一復員者ノ史実部ニ送付ス

備考

特設ニ記載セシメテ一復員者ノ史実部ニ送付ス